



【これまでの主な取組】

▶これまでは2025年大阪・関西万博をマイルストーンとして、「夢洲」、「うめきた 2 期」のフィールドを中心に、プロジェクトを進め、一定の成果を上げてきました。

大阪のスーパーシティのテーマ：データで広げる“健康といのち”

「健康といのち」をテーマに住民QoLを向上させる先端的服务を展開

1. これまでの取組

2025年大阪・関西万博をマイルストーンとして、「夢洲」・「うめきた 2 期」という 2 つのグリーンフィールドにおいて、「夢洲コンストラクション」、「大阪・関西万博」、「うめきた 2 期」といったプロジェクトを進めてきた。

データで広げる“健康といのち”

2023年度～
夢洲コンストラクション



2025年度
大阪・関西万博



提供：2025年日本国際博覧会協会

2024年度～
うめきた 2 期



提供：グラングリーン大阪開発事業者

住民QoLの向上と
都市競争力の強化を
めざす

輝く未来社会

○夢洲コンストラクション

- ・大阪・関西万博に向け、2023年度から建設工事が本格化。
- ・規制・制度改革及び先端的服务により、工事現場内外の移動や、作業員の安全・健康管理の円滑化等を推進。

○大阪・関西万博

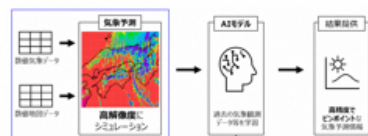
- ・「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとした2025年大阪・関西万博において、ヘルスケアやモビリティ等の先端的服务に係る取組を実施。

○うめきた 2 期

- ・2024年 9 月、先行まちびらきを実施。
- ・IoT活用等により、人々が健康で豊かに生きるための新しい製品・サービスの創出につながる環境を整備。

これまでに実現した主な規制改革・サービス

- ・AIを活用した気象予報に係る気象予報士の設置基準の緩和（2022.12に全国措置化）
- ・特定自動運行（自動運転走行（レベル4）の運転者がいない状態での自動運転）の許可制度の創設（2023.4に全国措置化）
- ・空飛ぶクルマの社会実装に向けた制度整備（2024.3に全国措置化）



大阪ガス・大林組公表資料より



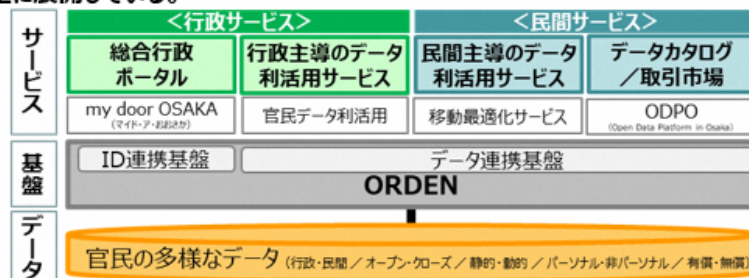
Osaka Metro公表資料より



経済産業省HPより

大阪広域データ連携基盤【ORDEN】

様々な主体の多様なデータの利活用を促し、データ駆動型スマートシティを実現。
2023年3月より稼働。総合行政ポータルサイトやデータカタログ機能等を基盤上に展開している。



▶万博後の展開に向けて、昨年度、万博後の新たな展開について検討を進めてきました。

2. 万博後の展開

大阪スーパーシティの持続的発展のため、万博後における新たな展開に係る府市の方針・取組等の具体化について検討をすすめる。

先端的サービス・規制改革

1 夢洲・うめきた 2 期におけるさらなる展開

万博後の未来社会の実現に向けた規制・制度改革に係る新規提案やプロジェクトで実現した先端的サービスの展開促進を図る。

事例 1 夢洲 2 期開発におけるサービスの実装
(夢洲コンストラクションで導入したAI気象予測サービス等の展開)



㈱大林組提供

事例 2 万博で実証した先端技術の社会実装
(自動運転や空飛ぶクルマ、大阪ヘルスケアパビリオンに出席するスタートアップ技術等)



Osaka Metro HPより

事例 3 うめきた 2 期全体まちびらきに向けたサービス開発
(スタートアップ等と連携し、PHRを活用した新たなサービスの創出等)



Grangreen Osaka HPより

2 新たなフィールドへの展開

夢洲・うめきた 2 期以外のフィールドにおいても、新たにスーパーシティの取組を行おうとするエリア・企業等を大阪府・市が募集・選定し、エリアと企業等のマッチングや規制・制度改革提案の共同検討等を行い、先端的サービスが継続的に創出される仕組の構築に向け検討する。令和 8 年度以降、当該仕組の本格稼働を開始する。

【新たな展開のイメージ】



データ連携基盤【ORDEN】

3 データ連携基盤の利活用推進と共同利用展開

(1) 一層の利活用推進

my door OSAKA や ODPO など、実装しているサービスの更なる展開と、「夢洲」・「うめきた」・「新たなフィールド」における一層の利活用を推進する。

1. my door OSAKA

(マイド・ア・おおさか)
市町村展開、サービスの拡充



2. ODPO

(Open Data Platform in Osaka)

官民データの更なる拡充と利活用推進、ハッカソン等によるユースケース創出



ODPOカタログ

3. その他のデータ利活用推進

“移動最適化”サービスの展開、オープンデータの“見える化”の充実



(2) 地方公共団体間における共同利用展開

データ駆動型社会の実現を加速するとともに、その成果を横展開し、持続的に発展させるため、共同利用にも取り組む。

【共同利用イメージ】

① データ連携基盤の共同利用推進

開発・運用コストの低減や、多様で質の高いサービス提供等、共同利用に取り組む意義・メリットを整理・展開し、共同利用を推進する。

② 共同利用のためのスキーム構築

複数団体が持続的にデータ連携基盤を共同利用するスキームを設計・構築する。



スケジュール

フェーズⅠ (～2024年)

フェーズⅡ (2025年)

フェーズⅢ (2026年～)

スケジュール		フェーズⅠ (～2024年)		フェーズⅡ (2025年)		フェーズⅢ (2026年～)	
夢洲	夢洲コンストラクション/大阪・関西万博	サービス内容検討・実証/実装 (万博関連準備)		万博開催			
	夢洲 2 期	マスタープラン策定		サービス実装(万博跡地撤去) 新サービス検討		サービス実装(跡地開発)	
うめきた 2 期		サービス内容 検討・実証	先行 まちびらき	サービス実証・提供		全体開業	
新たなフィールド				対象エリアにおける実証的調査 先行事例調査	新たな仕組の検討	仕組の運用開始	
大阪広域データ連携基盤 (ORDEN)		データ 基盤開発	ID基盤 開発	基盤運用・共有化			

大阪府域へ展開

【フェーズⅡ（2025年）以降の主なプロジェクト等】

- ▶フェーズⅡ（2025年）以降、ORDENの活用や具体的な規制改革提案を伴う実証等について、内閣府の支援も受けながら、取り組んできました。
- ▶ORDENによるデータ連携、WEB3やAIを活用した先端的サービス、空飛ぶクルマ等の新たなモビリティに係る取組が進んでいます。

<<ORDENを活用した取組>>

めぐろっと

- ▶複数の都道府県のおすすめ観光スポット情報をユーザーに提供するサービス

AI交通状況予測

- ▶AIで特定の地点の交通状況を予測するサービス

OSAKAエコライドサービス

- ▶駐車場をレコメンドし、駐車場利用者にお得なクーポン発行等をするサービス

<<規制改革提案を伴う実証等>>

WEB3PHR連携

- ▶スマートヘルスアプリで得られるPHRをアプリ利用者自らが保有・管理し健康づくりに活用できるサービスの実証

学校内外の日本語指導連携

- ▶外国人児童生徒の学校外における日本語指導の展開、その状況のWEB3を活用した学校との共有・連携等の実証

WEB3等を活用したまちづくり

- ▶DAO（自立型分散組織）等を活用した誰もが手軽にまちづくりに参画できる仕組みの確立のための実証

独居高齢者孤立防止のためのフィジカルAI

- ▶孤立孤独等の状態にある者のウェルビーイング向上のためのフィジカルAI・電力データ活用サービスの実証

空飛ぶクルマ

- ▶空飛ぶクルマの社会実装に向けた都心部における離着陸拠点不足の解消を図る取組などの実証